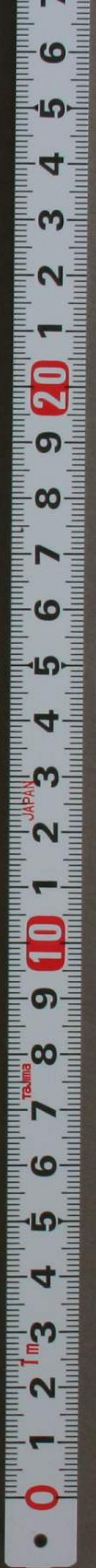


龍涎香
山村才助写
薬ヲ服スルイナクテ能ク飲食ヲ進ムル法

洋学文庫
文庫8
A 217



特
118
26

Hortus Medicus
herb, tim, genesheer.



藥ヲ服スルヲナクシテ能ク飲食ヲ進ムル法

六機文

凡ソ食欲シ失フモノハ多クハ胃ノ敗壞スルヲアルニ因
テナリ而後能他ノ諸病ヲ生スルニ至ル是甚難症ニ
シテ如斯ナルトキハ居恒膳ニ就テ食スルヲ能ハサルノミ
ナラズトハ豊饌美味ニ對スルト雖モ亦コレヲ厭フ意
アリ強テ食フトキハ必多クハ吐逆スルモノナリ我が一
親友曾テ園圃ヲ管スル一醫官ノ許ニ赴テ奇異非
常未ダ曾テ識ラサル所ノ藥草ヲ觀ルテ甚多ク
此時ニ於テ常ニ所有ノ一草ニ一種ノ甚駭クベキ奇
功アルヲ知レリ云フコレ其園ノ園丁我友ヲ導テ

其貴重ナル園圃ヲヨク悉ク觀セシメタルニ因テ友人帰
ラントスルニ臨テ乃チコレニ謝スルニ貸シ以テセシカバ
彼園丁亦一箇ノ秘事蒸シ服スルコトナクメヨク飲食
ヲ進ムルノ法ヲ傳ヘタリコト如何トナレバ此時友人數
日以前ヨリ飲食曾テ進マザルノ症ヲ得テ惱ムニ因
テ其事ヲ彼園丁ニ語リシカバ園丁則茵陳草ヲ
兩手掌ニ滿ルホド捧ケ來テ曰ク此草ヲ莫大小
ノ裡及足蹠ノ下ニ納シオキテ而毎朝此新ナル草ヲ
イレカヘテ初ノ葉ヲ除クベシレカルトキハ則ヨク食スル
コトヲ得ベシト友人コレニ從テ右ノ如クセシカバ果テ

平愈セリ其後幾モナクメ予亦此症ニ係リテ諸食物
ヲ吐テヤマス若シ温ナル食物ノ香ヲ齧ケバ忽ニ嘔吐シ
催スニ因テ偶友人ニ此ヲ語リシニ友人曰ク此ノ方
信ズルニ足ラザルガ如シト雖モ我サキニ彼園丁ヨリ
此方ヲ受ケ用テ効ヲ得タルコトナレバ先コレヲ用ヒ
タマヘト云ニ因テ予乃チ茵陳ヲ採テ其葉ヲ莫大
小ノ裡ニイレテ毎日葉ヲ換テコレヲ試ムルニ凡ソ
二日有餘ニシテ病全ク愈テ食スルコト一人ヲ兼ヌルニ
至レリ則知ルコレ真ニ類ヒ少ナル經驗ノ良方ニシテ
且コレヲ行フコトモ亦甚容易ニ茵陳モ亦都鄙ヲ

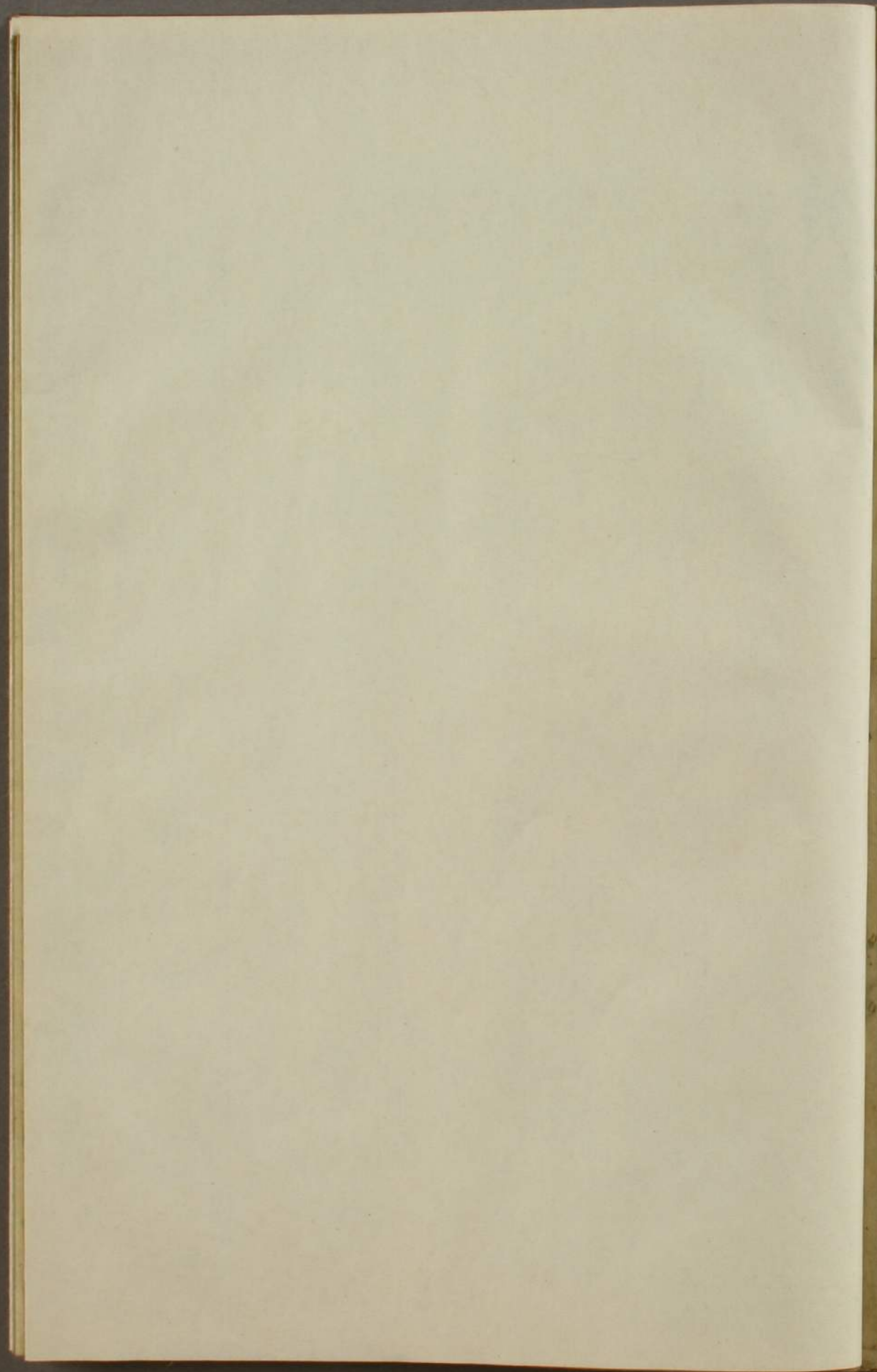
論セズ処ニ隨テ皆多ク得ベシ然ルトキハ別ニ薄シ
服スルトナク且諸貴重ナル健胃ノ薬及ヒ拔ル撒摩
等ノ貴重薬シ重價ヲ以テ購ヒ求ムルニモ及バズ此容
易ナル方ヲ以テ失ヒタル食欲ヲ本ニ復スルト豈奇
快ニ非ズヤ予已ニ此ヨリメ後ニ恒ニ屢コレヲ以テ
効ヲ奏スルニ因テ一ニノ友ニコレノ方ヲ傳フルニ初メ
聞テハ皆笑テ信セスト雖モ試テ後ハ大ニ効ヲ得
タリトテ感謝シ受ルコト多カリシナリ

蕃薇シメ殊ニ香窟ナラシムル法

予ガ友ニ一園丁アリ曾テ把理斯拂郎家ニ旅行

スルニ因テ予コレニ餞スルニ此ノ旅用ノ貸ヲ以テス
園丁乃コレニ報スルニ蕃薇ヲメ太ダ香窟ナラシム
ルノ法ヲ傳ヘタリ其法タビ蕃薇樹ノ附近ニ放テ
葱ヲ土中ニ挿入ルノニ蕃薇樹株ノ多少ニ隨テ
葱亦コレニ應メ多少アリ然ルトキハ蕃薇ニ非常ノ
芳香アツテ其花ヨリ所採ノ露水亦甚香窟
ニシ薄用ニ供メ其功最大ナルヲ以テ諸製薬家
殊ニ好シデコレヲ購フト云

右 和蘭ルツツテマン奇方秘函





龍涎香

大槻文庫

非浦涅兒曰龍涎香羅甸呼テアムブラレ又アムバ

ムト云ニ和蘭ニコレヲアムベルト云フ品類凡二曰ギリセア

羅甸語灰曰ニガラ羅甸語此物其由テ成ル所未ダ密ナラズ

諸家ノ説紛然トメ一定ノ論ナレ故ニ世ニ此類凡二十

種ニ近シト云ヘル語アリ今其諸説ヲ合セ考フルニ或ハ

曰アムブラハ則ヨシテンレ井ムノ一種ニメ海底ノ深キ

処ヨリ出テ岸ニ漂着スルヲ人コレヲ得ルナリ

ヨシテンレハ國ノ名漢ニ如德亞ト訳スル者コナリコイハ

ハ脂類ナリ非浦涅兒ノ書ヨシテンレ井ムノ本條ヲ按ス

ルニ曰ヨシテンレ井ム一名アスハラ左ト云フ則チ如德亞

國ノトシテゼエ漢ニ死海ノ海中ヨリ出ス所ノ一種ノ脂塊

ナリ採テ藥品ニ供ス其功多シ

或ハ曰コレ他物ニ派ス則チ一種ノ鯨魚ノ種子ナリト又

或ハ曰コレ一種ノ鳥ノ糞ナリト又或ハ此物ヲ以テゼエゲワツ
セシノ部ニ入ルモノアリ

「ゼー」ハ海ヲ云フ「ゲワツ」セシハ生植ノ物ヲ云フニ言合ノ海

産^物モノモ云キヤ非蒲澄兒ノ書ヲ按スルニ曰「ゼエゲワツ」セシ

一名「マリ」ナト云フコレ諸ノ海中所生ノ茸菌及奇形ノ生類

又食料ニ供スベキ魚等ヲ稱スルノ總名ナリト云然ラハコレ

「アムベル」ノ凝結シテ塊ヲ成スモノヲ見テ海菌ノ類ト

ソ「ゼー」ゲワツセシノ部ニ入ルモノナルベシ

然レモ今詳ニコレヲ考フルニ「アムベル」ハ乃其原トタゞ按

爾撒摩^{樹脂名香氣}ノ如キノ「氣」^{ナリ}海水ノ泡ノ濃厚

ナル者トニシテ初メハ質甚柔ホニシテ浮キ流レ彼此相

混合シ海底ノ土氣蒸發シテ佳香アル者ヲ吸ヒ合

ミ^ル南^方熱^帯ノ地ハ日ヲ去ル^ト甚^近キニ因テ日^光酷^烈ニシテ

キ物^甘物^辛物^苦物^等ヲ多ク産スルナリ^{豊饒ニシテ香氣多}

伽南^丁子^龍腦^諸香^甘蔗^胡椒^類ノ如シ^{遂ニ海面ニ於テ日光ニ煎}

熬セラレ凝結シテ塊ヲ成シ芳香馥郁タル者ナリ凡ソ

此物其土氣ノ蒸發スルニ因テ美香アルト云ノ證ハ

我カ歐羅巴洲ヨリシノ東方諸国ノ海上ヲ航行シタル

者ノ所記ニ曰ク則意蘭島ヲ去ル^ト凡^一日有餘程ノ

海上ニ於テ極テ愛スベキノ芳香芬馥タルアリ其地

ニ則チ諸ノ香窠ナル草木生植ノ物極テ多シ如此

土氣蒸發スルノ國ナレハ則其海ニ必ス上品ノ「アムベル」

ラシ^トヲ船中ニテコレヲ知ル^ト因テコレヲ其土人ニ問フト

雖^モ土人ハ皆敢テ其品ノ精粗ヲ分別スル^トシ知

ラズタゞ其波ニ隨テ海岸ニ漂到スル者ヲ漫ニ取り

得ル^トニ故ニ其所得^ル或ハ其質此ニシク廉ニメ而脂ノ

如ク其香琉黃ニ似テ味鹹ナルモノアリコレハ其北邊ノ

地氣ニ因テ成ル^所者ニシテ此ニ流レ至レル者ナリ故ニ

質粗ニシテ香亦宜シカラズコレニ反シテ赤道線ヲ去ル^ト

遠カラサル南北兩邊ノ諸国ノ地氣ニ因テ所成ノ者

日光照ラス所ノ力極テ大ナルカ故ニ其粗ナル者ヲ煎
消シテ而ノ拔ル撒摩チナ如キ細ヤカナル美香シナス
ナリ凡ク此アムベルギリス則其灰シ諸処ヨリ得テコレシ
試ルニ全ク皆日光煎熬ノ力ノ多少ニ因テ精粗アル者
ナリ此アムベルギリスノ真偽ヲ辨シテ試ムルノ法小
刀シヨク十分ニ温タメテ其上ニコレシ置ケバ恰モ蠟ノ
溶ルガ如クニ全ク皆消化スコレ正真ノ驗ナリ人亦
或ハ蠟等ノ物シ以テ贋造シテ小塊シナスモノアリ
其質甚破レ易ク碎ケ易シ凡クアムベルギリスノ
最上品ナル者ハ亞弗利加洲ノ東方海濱ノ諸國ニ
産ス殊ニメリンデ國ノリシセナ河口ニ於テ多クコレシ
得ルナリ波爾杜瓦爾國ヨリ所署ノモサンビク亞弗利加洲中ノ地
波爾杜瓦爾國ノ酋長此物ヲ多ク取得テ歐羅巴洲携
ヘ歸テ大利ヲ得シアリ
又云「アムベルニガラ」和蘭呼テ「スワレテ」アムベルト云フ

コラテニ詰ニガレ和蘭語
「スワレ」俱ニ黒色ノ義ナリ
然レ世ニコレシ用ユル者少ナシ
按スルニ「シヨメ」此ノ書ニ曰「スワ
ルテ」アムベルハ特リ香料ヲ賣ル
者コレシ故ニ今コレシ求メ來ル者モ亦稍少ナシ
詳ニア
ガアト「條下」録ス

